

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

エアーボトルジャッキ 20トン 取扱説明書 【品番】EBJ-20

この度は「エアーボトルジャッキ 20トン(EBJ-20)」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒729-0112 広島県福山市神村町字仁五下 4757-1

(M A I L) info@kikaiya.com

■はじめに

- このボトルジャッキは持ち上げ専用に設計されています。
車両、機械、その他の構造物の持ち上げまたは位置決めに適しています。
ジャッキは垂直方向、または垂直位置から3度傾けて使用できます。
ジャッキアップ後は、直ちにジャッキスタンドで荷重を支えてください。
- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があり、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、
弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

 危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
 警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
 注意	誤った方法で使用すると『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

※この取扱説明書に記載されている警告、注意事項、および指示は、
発生する可能性のあるすべての条件や状況を網羅しているわけではありません。
使用者は、「常識と注意」が本書に組み込まれておらず、自身で律する必要がある事をご理解ください。

■製品使用上のご注意

!**警告**

1. ジャッキの使用とお手入れ

- ジャッキをいかなる方法でも改造しないでください。機能や安全を損なう可能性があります。
- ご使前に必ず、損傷や摩耗した部品がないか確認してください。損傷した部品交換・修理してください。
- 製品を使用する際は、子供やその他の周囲の人が安全な距離を保っていることを確認してください。
- 作業に適した服装(手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- 定格容量を超えないでください。
- 傾斜が3度未満の、硬く平坦な路面でのみ使用してください。
- ジャッキアップ専用です。荷物はサドルの中央で持ち上げ、適切な手段で支えてください。
適切な手段で支えるまでは、絶対に持ち上げたものの下に入らないでください。
- 車両を持ち上げる場合は、車両メーカーが指定した部分のみを持ち上げてください。
使用する前にパーキングブレーキをかけ、持ち上げる側の車輪に輪止めなどの固定具を使用してください。
- 溝曲したバンパーや管状のバンパーに使用しないでください。
- ジャッキ使用中は、車両を移動したり、台車に載せたりしないでください。
- 住宅や基礎、移動住宅、トレーラー、RV、キャンピングカー、フィフスホイール、芝刈り機やトラクターなどには使用しないでください。
- ジャッキは常にゆっくりと下げてください
- ジャッキを使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
保管前および再使用前に、正常に動作することを確認してください。
- 疲労時や、医薬品やアルコールの影響下で使用しないでください。
- 製品を使用する際は、子供やその他の周囲の人が安全な距離を保っていることを確認してください。

2. 点検

- 毎回使用する前に、ジャッキを注意深く点検してください。
正しく操作でき機能するか、損傷、過度の摩耗、部品の欠落がないことを確認してください。
- 適切に潤滑されていない状態でジャッキを使用しないでください。
- 使用する前に作業場所を点検し、潜在的な危険物がないことを確認してください。
- この説明書を読まずに本機を操作または修理しないでください。
- 操作者が適切な訓練を受け、本機を安全かつ正しく操作する方法を理解していることを確認してください。
- ジャッキ本体に貼られたすべてのステッカーを清潔に保ち、見えるようにしてください。
- 定期的に点検し、必要に応じてすべてのメンテナンスを実施してください。

3. 安全

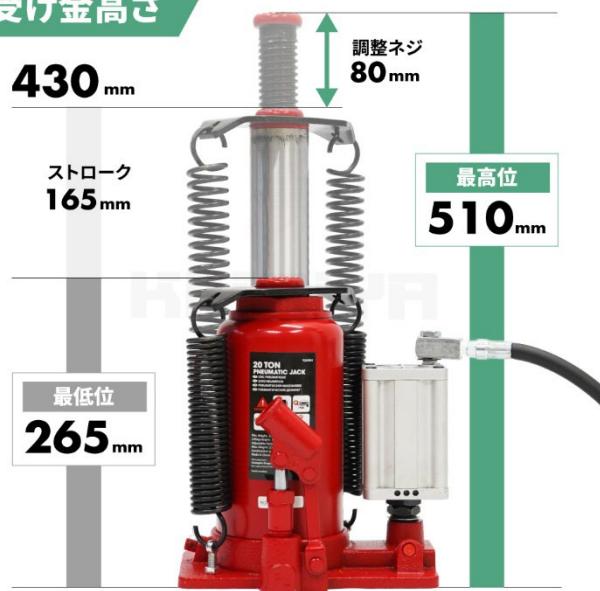
- 本機の取り付けおよび操作の際は、必ず安全上の注意事項に従ってください。

■製品仕様

本体重量	16.3kg(ハンドル含む 16.7kg)
能力	20トン
受け金高さ	最低位 265mm～最高位 510mm ストローク 165mm+調整ネジ 80mm
使用エアー圧力	0.68-1.20Mpa(100-175PSI) 1分/約 60mm 上昇
動作温度	4°C～41°C
梱包箱サイズ	280 × 300 × 200mm(梱包重量 17kg)

※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

受け金高さ



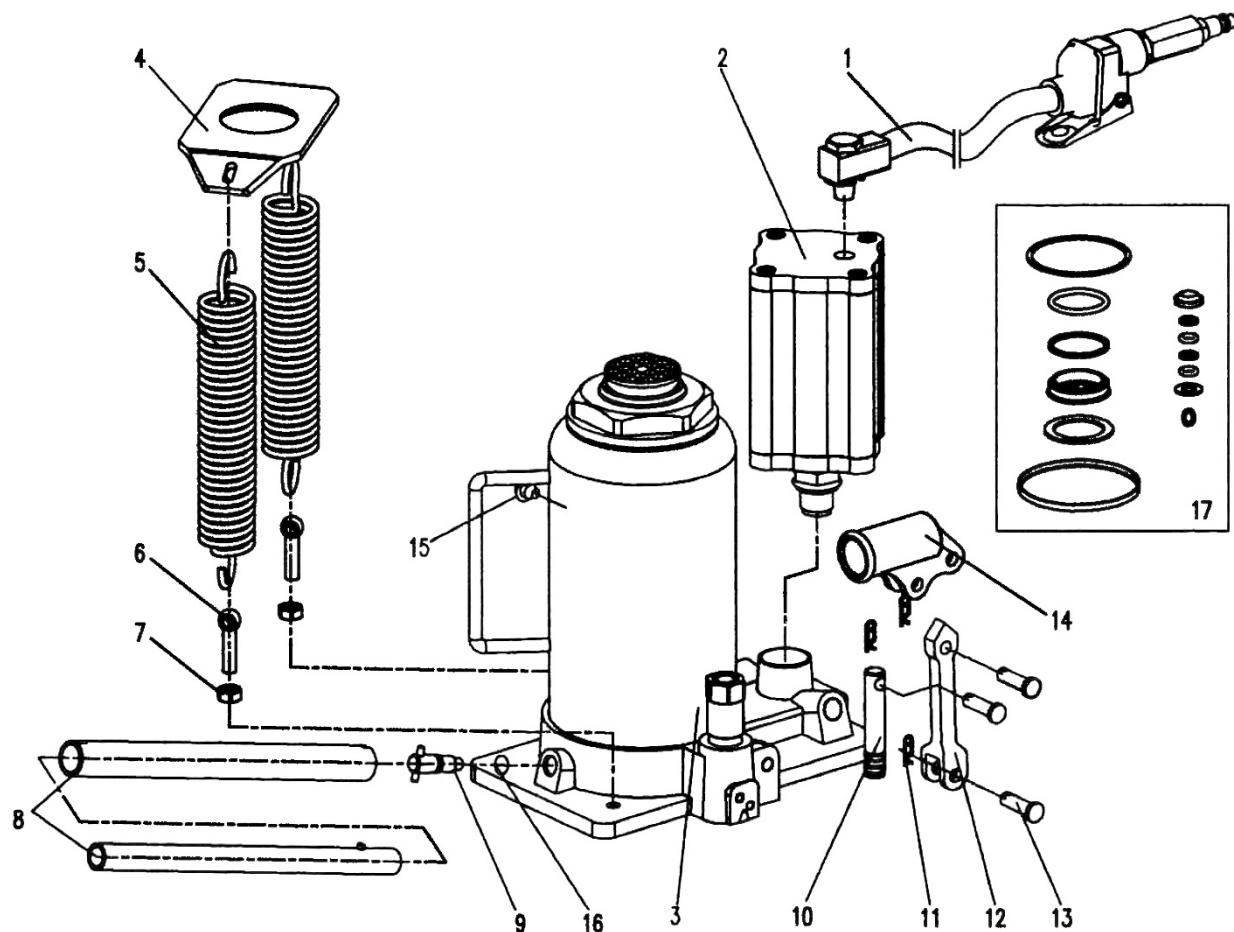
SIZE 【単位：約mm】



■製品説明

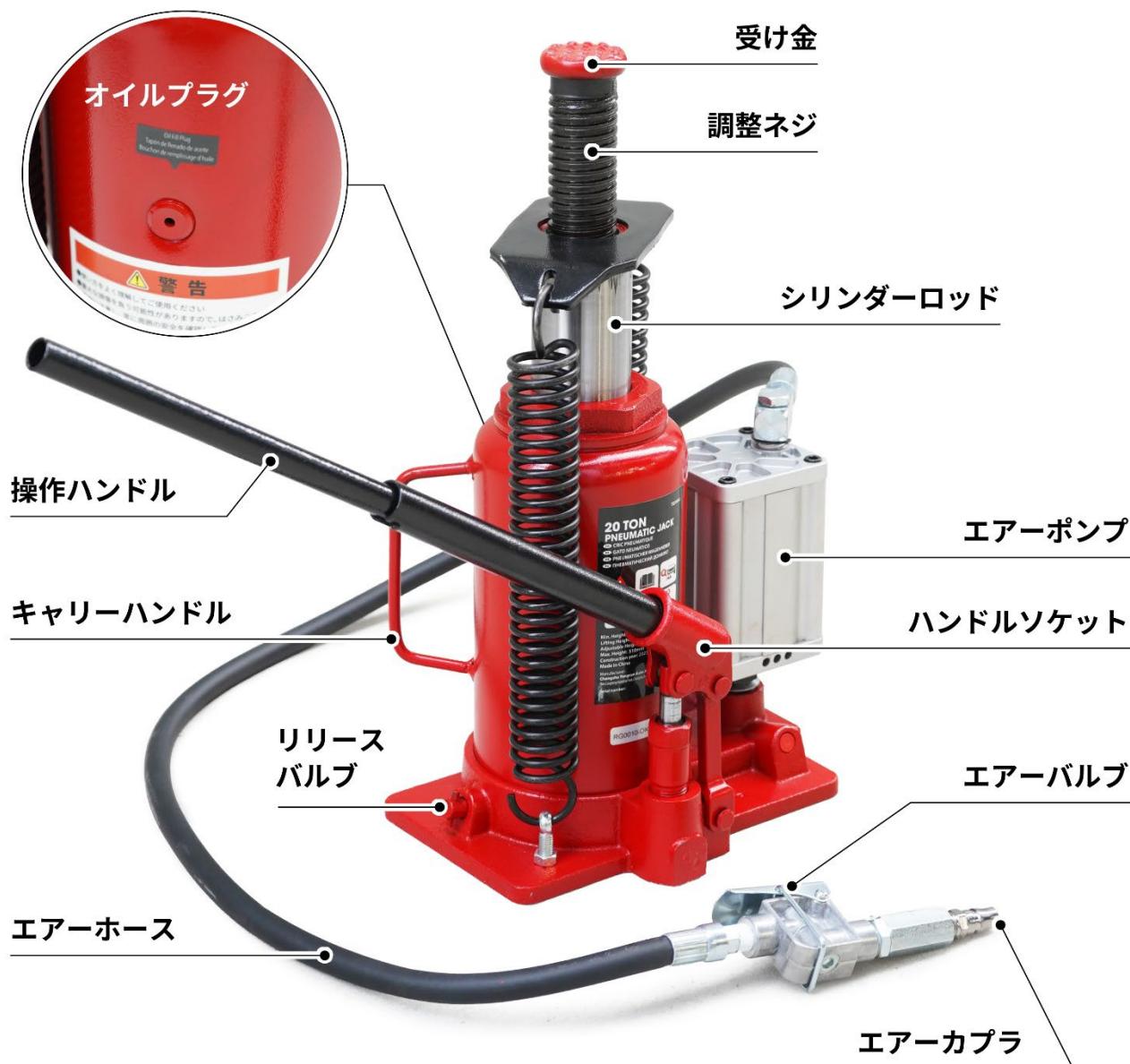
- エアー/手動兼用で使用できる油圧ジャッキです。
- エアーコンプレッサーに繋いで使用します。
- シリンダーと調整ネジで、2段階の高さ調節が可能。
- エアーがない場合や微調整時には、操作ハンドルを上下してジャッキアップできます。
- ポンピング約180回で最高位まで上がります。
- キャリーハンドル付きで、移動時や抑えに便利。

■ パーツリスト



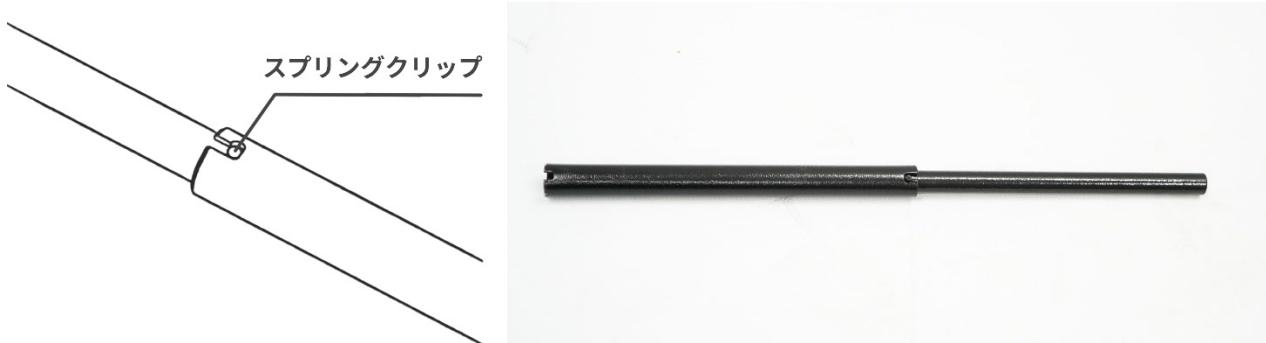
No.	パーツ	個数	No.	パーツ	個数
1	高圧ホース部品	1	10	ポンププランジャー	1
2	エアーポンプ	1	11	スナップリング Φ1.2x18mm	3
3	油圧ポンプ	1	12	コネクティッドバー	1
4	スプリングプレート	1	13	ピン Φ8x30mm	3
5	スプリング	2	14	ハンドルソケット	1
6	スプリングネジ M8X25-40mm	2	15	オイルプラグ	1
7	ナット M8	2	16	スチールボール 0.6mm	1
8	操作ハンドル	1	17	シールキット	1
9	リリースバルブ	1			

■ パーツ名称



■ 組立方法

ハンドルを組み立てます。スプリングクリップが凹みに差し込まれていることを確認してください。



■ご使用前に

取扱説明書をよく読み、製品とその不適切な使用に伴う危険性について十分に理解してください。

【リリースバルブの操作方法】

操作ハンドルを差して回します。

閉鎖→締めて上昇
(時計回り)

解放→緩めて下降
(反時計回り：1/4回転)



【初回の使用前操作】

- エアー抜きを実行してください。

〈エアー抜き方法〉

- リリースバルブを反時計回りに回して緩めます(1/4回転)。
※緩めすぎでください。スチールボールが飛び出る可能性があります。
- ハンドルを6~8回素早くポンピングし、ハンドルを下げた状態にします。
- マイナスドライバーを使用してオイルプラグを少し横に押し、油圧ポンプ内のエアーを排出します。
※オイルプラグを破損したり、穴を開けたりしないよう注意してください。
- リリースバルブを時計回りに回して締めます。

- エーカプラに潤滑油を2~3滴ほど注ぎます。
エアーホースに接続し、3秒間作動させて潤滑油を均一に塗布してください。
- 運転開始前に、ポンプがスムーズに作動することを確認してください。
- 本製品には標準の1/4インチNPTカプラが付属しています。
カプラの変更が必要な場合は、好みの1/4インチNPTカプラの接続部にシールテープを巻いて取り付けてください。
- 使用前に必ず点検してください。部品に曲がり、破損、ひび割れが見られる場合は使用しないでください。



- ジャッキアップ専用です。
- 本製品は荷物の全体の一部を持ち上げるためだけに設計されています
- 車両の場合は、必ず車輪を固定し、パーキングブレーキを掛けて、車両メーカー指定のジャッキポイントで持ち上げてください。
- 本製品で荷物を持ち上げた後は、必ずジャッキスタンドを使用してください。
- 木製ブロックや承認されていない荷重支持器具は使用しないでください。

■使用方法

【 ジャッキの上げ方 】

1. ジャッキを安定させるため、荷物が不用意に移動したり、ずれたりしないように固定します。
車両の場合: **車輪を固定し、パーキングブレーキを掛けます**
2. ジャッキを希望の持ち上げポイントの近くに配置します。
3. 受け金が中央に位置し、荷物の持ち上げポイントにしっかりと接触するようにジャッキを配置します。
車両の場合: **車両メーカーの取扱説明書を参照して、車両のジャッキポイントを確認します**
4. 操作ハンドルを使ってリリースバルブを時計回りに回し、しっかりと閉じます。
5. 荷物を持ち上げる前に、受け金が中央に位置し、リフティングポイントに完全に接触していることを再度確認してください。
6. 操作ハンドルでポンピングするか、エアーバルブを握って、サドルが荷物に接触するまで持ち上げます。
(エアーバルブの操作を停止するにはグリップを放します。)
7. 操作ハンドルをポンピングし続け希望の高さまで持ち上げます。
持ち上げた後、作業を行う前に、適切な定格の車両支持スタンドで荷物を支えてください。
8. 操作ハンドルを使ってリリースバルブを反時計回りに回し(1/4 回転)、ジャッキスタンドへ荷重を下げます。
※緩めすぎないでください。緩めすぎるとスチールボールが飛び出て作動しなくなる可能性があります。



- エアーバルブの操作はオペレーターの手以外では絶対に行わないでください。
配線、クランプ、その他の方法で機能停止させる行為はしないでください。
- リリースバルブが正しく作動するように付属のハンドルを使用してください。
- エアーホースや操作ハンドルに延長ケーブルを使用しないでください。

【 ジャッキの下げる方 】

1. 操作ハンドルを使ってリリースバルブを時計回りに回し、しっかりと閉じます。
2. ジャッキスタンドを取り外せる高さまで荷物を持ち上げ、ジャッキスタンドを慎重に取り外します。
3. 両手でハンドルをしっかりと握って手が滑らないようにし、リリースバルブが急激に下がらないようにします。
4. ハンドルを反時計回りにゆっくりと回して、リリースバルブを慎重に開きます(1/4 回転)。
※緩めすぎないでください。緩めすぎるとスチールボールが飛び出て作動しなくなる可能性があります。
※ジャッキの周囲や荷物の下に人が入らないようにしてください。
5. ジャッキを荷物の下から取り外した後、シリンダーロッドとハンドルソケットを押し下げて、錆や汚染の影響を受けないようにします。



ジャッキを下げる際は、細心の注意を払ってください。
リリースバルブを速く開けすぎると、ジャッキが急速に下がる可能性があります。

■メンテナンス・保管について

本製品を適切に使用し、メンテナンスすることで、長年にわたりご使用いただけます。

良好な動作状態に保つために、メンテナンス手順をよくお読みください。

ジャッキに荷重がかかっている間は、いかなるメンテナンスも行わないでください。

【点検】

毎回使用する前に、本製品に損傷、摩耗、破損または欠落した部品がないか(例:ピン)点検し、

すべての部品が正常に機能することを確認してください。

最適性能を得るには、潤滑および保管の手順に従ってください。

【固着】

本製品が固着して下降しなくなった場合、同等以上の荷重容量を持つ機器を使用して、
安全に地面まで下ろしてください。

固着を解除した後は、清掃、潤滑を行い、無荷重で持ち上げてテストしてください。

錆びた部品、汚れ、または摩耗した部品は、固着の原因となる可能性があります。

潤滑の項に記載されているように、本製品を清掃および潤滑してください。

固着が続く場合はお問い合わせください。

【清掃】

装置の可動部に詰まりがある場合は、洗浄溶剤または適切な脱脂剤を使用して清掃してください。

既存の錆は浸透性潤滑剤で除去してください。

【潤滑】

適切な潤滑がないと、本装置は安全に作動しません。

適切な潤滑なしで装置を使用すると、性能が低下し、装置が損傷する恐れがあります。

本装置の一部の部品は自己潤滑性がありません。

使用前に装置を点検し、必要に応じて潤滑してください。

清掃後は、浸透性潤滑油または潤滑スプレーを使用して装置に潤滑してください。

- ・すべての可動部に適切な潤滑剤を使用してください。
- ・軽負荷の場合は、月に1回潤滑してください。
- ・頻繁かつ継続的な使用の場合は、毎週潤滑することをお勧めします。
- ・これらの表面にサンドペーパーや研磨材を使用しないでください。

【防錆】

油圧ポンプのシリンダーロッドとポンププランジャーに錆や腐食の兆候がないか、毎回点検してください。

荷物を載せていない状態で、シリンダーロッドを最大まで上昇させ、調整ネジを最大まで伸ばし、

受け金の下側と後ろ側を確認してください。

錆の兆候が見られる場合は、必要に応じて清掃してください。

【 ジャッキの動作原理 】

リリースバルブが閉じている状態で操作ハンドルを上昇させると、リザーバータンクからプランジャー・キャビティにオイルが引き込まれます。油圧によってバルブが閉じられた状態になり、オイルはプランジャー・キャビティ内に保持されます。操作ハンドルを下降させると、オイルがシリンダーに放出され、ロッドが押し出され、受け金が上昇します。ロッドが最大に達すると、オイルはリザーバーに通され、ロッドの過剰な伸長とジャッキの損傷を防ぎます。リリースバルブを開くと、オイルがリザーバーに戻ります。これにより油圧が解放され、受け金が下がります。

【 ジャッキの保管 】

1. シリンダーロッドを下げます。
2. ハンドルを直立位置にします。
3. 乾燥した場所に保管してください。屋内を推奨します。

注: ジャッキを屋外に保管する場合は、ジャッキの良好な作動状態を維持するために、

使用前後にすべての部品に必ず潤滑油を塗布してください。

腐食や錆の原因となる可能性のある屋外または腐食性環境で保管する場合は、必ずジャッキを完全に収納した状態で保管してください。

【 ジャッキオイルの補充 】

1. ジャッキを平らな場所に置き、受け金を下げます。
ハンドルを反時計回りに回してリリースバルブを開きます(1/4回転)。
※緩めすぎないでください。緩めすぎるとスチールボールが飛び出て作動しなくなる可能性があります。
2. オイルプラグを取り外します。
3. オイルレベルがオイル注入口の下端の、すぐ下になるまでオイルを注ぎます。
4. オイルプラグを戻します。
5. エア一抜き手順を実行します。

【 ジャッキオイルの交換 】

1. ジャッキを平らな場所に置き、受け金を下げます。
ハンドルを反時計回りに回してリリースバルブを開きます(1/4回転)。
※緩めすぎないでください。緩めすぎるとスチールボールが飛び出て作動しなくなる可能性があります。
2. オイルプラグを取り外します。
3. ジャッキを横向きにして、古いオイルがオイル注入口から排出されるようにします。
4. ジャッキを平らな地面に置き、受け金を下げます。
5. オイルレベルがオイル注入口の下端の、すぐ下になるまでオイルを注ぎます。
6. 注ぐ際は、汚れやその他の物質を取り除いてください。
7. オイルプラグを戻します。エア一抜き手順を実行します。

【 その他の警告 】

- ジャッキにはエンジンオイルを使用しないでください。
- 消泡性のジャッキオイルのみを使用してください。
- 常に高品質の油圧ジャッキオイルを使用してください。
- ブレーキフルード、アルコール、グリセリン、洗剤、タービンオイル、トランスミッションフルード、エンジンオイル、汚れたオイルなどは絶対に使用しないでください。
- 推奨されていない液体を使用すると、ジャッキが損傷する可能性があります。
- 不適切な作動油を使用すると、ジャッキの早期故障や、突然の負荷喪失を引き起こす可能性があります。
- 異なる種類の液体を混ぜないでください。
- 作動油は、地域の規制に従って廃棄してください。

【 ジャッキに関する追加情報 】

- ポンピストンとラムに錆や腐食の兆候がないか定期的に点検してください。
- 必要に応じて清掃し、オイルクロスで拭いてください。
- サンドペーパーや研磨剤は、表面に絶対に使用しないでください。
- 使用しないときは、ポンピストンとロッドを完全に引き込んだ状態でジャッキを保管してください。

■トラブルシューティング

荷物を持ち上げない	荷重を保持しない	ロッドが下がらない	持ち上げが弱い	完全に伸びない	原因と解決策
×	×		×		リリースバルブが完全に閉じていません。
×					能力を超えました。
×			×		油圧ポンプにエアーが入っています。 エアー抜きを実行してください。
×	×		×	×	オイルレベルが低いです。 必要に応じてオイルを補充してください。
		×			オイルが過剰に充填されています。 余分なオイルを排出してください。 可動部に潤滑油を注してください。
		×			ジャッキが包装されているか、外部からの妨害物です。
×	×		×		ポンプユニットが故障しています。 ポンプユニットを交換してください。